

大分県内の外国人福祉人材に関する最新の情報をお届けします！

今回は**13名の外国人スタッフを受け入れている特別養護老人ホーム宇水園**を訪問し、6年以上勤務している外国人スタッフ2名そして彼女らを指導する日本人スタッフにインタビューしました。



(左から)王さん、ネアトさん

ここで
働いています！

特別養護老人ホーム 宇水園

〒879-0456 大分県宇佐市辛島299番地の2
TEL:0978-33-0111



令和元年11月に「特別養護老人ホーム宇水園」の技能実習生1期生として入職し、実習終了後、在留資格特定技能に移行し、引き続き同施設で働いている中国出身の王さんとカンボジア出身のネアトさん。

出身国が違っても、一緒に入職した仲間としてお互いに支え合い、他の外国人スタッフの手本になれるように、仕事も資格取得の勉強も一生懸命頑張っています。

お二人はともに第一線の戦力として活躍しています。

王さん

●中国の老人ホームで3年間勤務した経験がある王さんは、令和元年から宇水園でケアワーカーとして働いています。「中国人の利用者さんは意見があったらすぐに言うのに対して、日本人の利用者さんは静かで控えめです」と感じたことを話してくれました。

●介護の業務は一人でこなせていますが、今でもコミュニケーションが課題と感じています。「勤続年数が長いものの、日本語がまだまだなので、日本人スタッフに迷惑をかけています」という王さんは黙々と真面目に仕事をしているようです。

●宇水園で働き続けられた理由は、「職場の同僚が親切に仕事を教えてくださり、自分のペースで働くことができるから」と周囲のサポートが精神的な支えにもなっています。

●「仕事で気をつけていることは同じミスを繰り返さないこと。ミスをしたとき、なぜ間違えたのか、次はどうすればよいのかを常に考え、リーダーに確認するようにしている」そうです。

●「日本で働いたおかげで、子どもが学校を卒業できました。今は給料の一部を親に仕送りし、親孝行もできています。今後も親に接する気持ちで利用者さんを介護し、私を受け入れてくれた宇水園に恩返ししたい」と王さんは心を込めて仕事する日々を送っています。

●彼女の夢は介護福祉士になってずっと宇水園で働き続けることです。そのために、実務者研修を受けています。「頭は良いほうではありませんが、一生懸命勉強して、合格するまでチャレンジし続けたいです」と意欲的に話してくれました。





ネアトさん

○7人兄弟姉妹の4番目に生まれたネアトさん。出身地はカンボジアの首都プノンペン近郊の村です。彼女は家族の生活を楽しむため、日本で介護の仕事をすることを決意したそうです。「最初は日本語があまりわからなくてストレスを感じていましたが、現在は言葉と仕事に慣れて、職場にも馴染みました」と笑顔で話してくれました。

○彼女は入所者全体の介護と4名の利用者の記録や生活面のお世話、居室の整理整頓の担当を真面目に一生懸命務めています。「ストレスが溜まったり、体がきついたり感じたときもありますが、おいしいものを食べたら回復できる」とのこと。

○「一時帰国をする際には、日本人スタッフが電車の乗り方を紙に書いて渡してくれました。電車の乗り方が分からなかった私は、おかげで無事に帰国し、再び日本に戻ってくることができました」と日本人スタッフの配慮に感謝しているネアトさん。彼女はカンボジアのおかゆを日本人スタッフに紹介するなど、周りとの交流ができています。

○現在、法人が契約した1Kの賃貸住宅で1人暮らしをしています。「施設まで自転車で5分くらい。家賃は月1万円。安くて助かる」とのこと。

○「ここは近くにスーパーがあるし、環境が故郷に似ているので、不便を感じたことがほとんどない。また、一緒に働く日本人スタッフがいつも気にかけてくださるので、落ちついて生活できます。」と宇水園で働き続けられた理由を語ってくれました。



(左から)黒木さん・近藤さん

日本人スタッフに聞きました！

■王さん・ネアトさんの素敵なおところはどんなところですか？

黒木さん：
2人とも日本語が上達していて頼りになる存在です。

近藤さん：
仕事に関しては、2人とも一人前になって助かっています。

■ふたりへ指導するときに気を付けていることは？

近藤さん：
日本人の当たり前を捨てて、外国人スタッフを理解するように気を付けています。また、翻訳機に依存しないでやさしい日本語を使って、日本人スタッフも伝える力をつけるように心がけています。

■ふたりへ指導して嬉しかったこと

黒木さん：
困ったときに頼ってくれたときに嬉しかったです。

近藤さん：
仕事での成長を感じたときやキャリアアップしたときが一番嬉しく感じます。

★編者後記

令和2年、技能実習生で入職したばかりの王さんとネアトさんは『外国人介護スタッフ受入施設事例集』の取材時にインタビューを受けています。それから5年、2人が異国の地で、同じ施設で頑張り続けている様子や思い、どのように成長されたのかを伺うため、今回取材に行きました。

2人と久しく会っていませんでしたが、生き生きと笑顔で自分のことを素直に話してくれました。お話を聞いて、2人とも悩みや苦労と向き合って、周りに支えられながら、5年前と比べて、着実に成長していると感じました。

王さん、ネアトさん、そして、インタビューに応じてくださった生活指導員の黒木さん、リーダーの近藤さん、ありがとうございました。

【発行元】 社会福祉法人大分県社会福祉協議会 施設団体支援部
〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号 大分県総合社会福祉会館2階
☎ 097-558-0319 ✉ shisetsu@oitakensyakyo.jp
🌐 <https://gaikoku-jinzai.oitakensyakyo.jp/>



▲HP二次元コード